

KANAGAWA

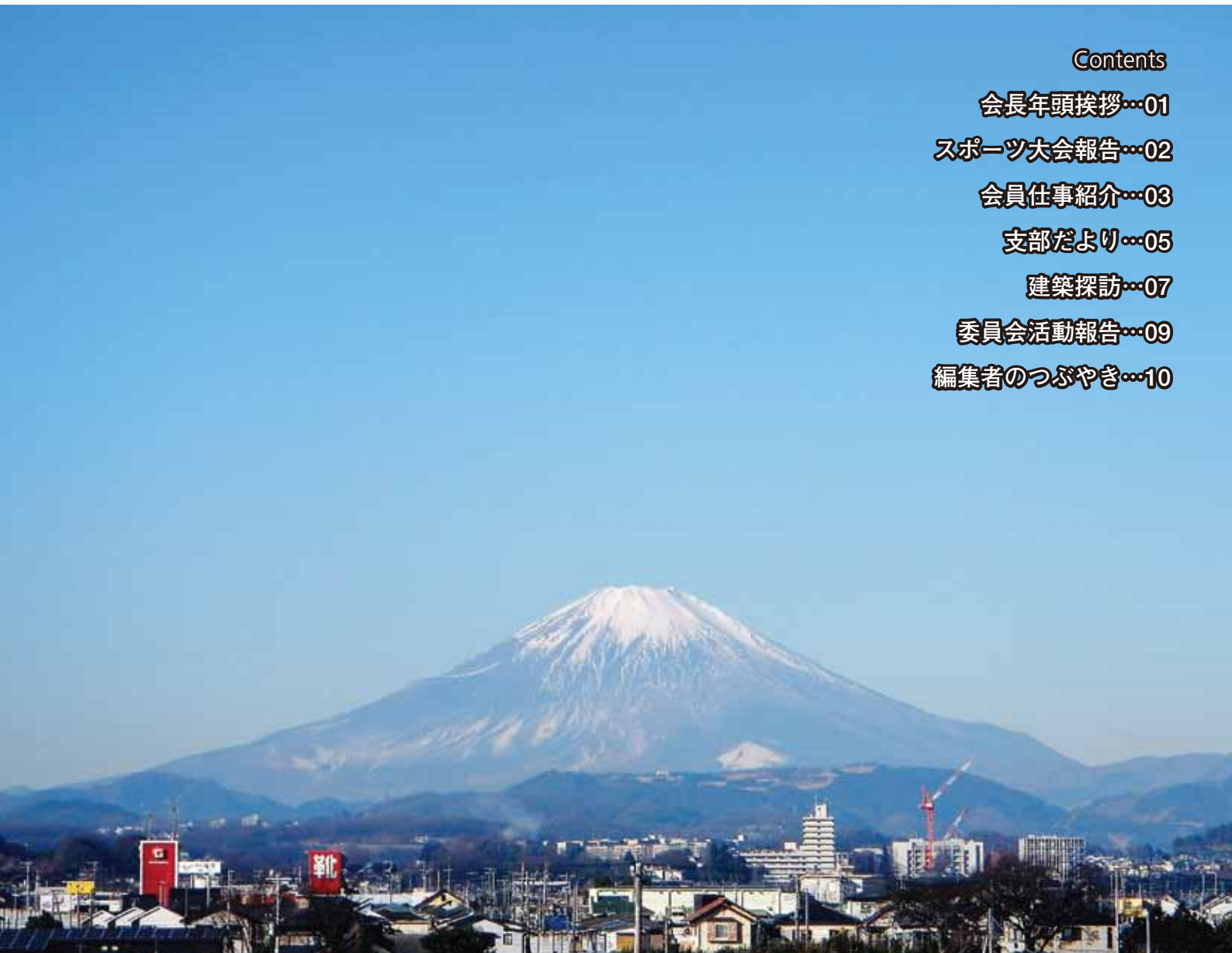
一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <http://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

1

January, 2018
vol. 412

Contents

- 会長年頭挨拶...01
- スポーツ大会報告...02
- 会員仕事紹介...03
- 支部だより...05
- 建築探訪...07
- 委員会活動報告...09
- 編集者のつぶやき...10



謹 賀 新 年

本年もよろしくお願ひいたします

『新年のご挨拶』



一般社団法人
神奈川県建築士事務所協会
会長 白井 勇



1 新年明けましておめでとうございます。
一般社団法人神奈川県建築士事務所協会にと
って昨年一年間は、40周年記念事業、役員改
選に伴う新体制のスタートと、慌ただしさの
中でも充実した年であったと思います。

“未来に継ぐ神事協”と、時代の流れの要請
に応え、今後も社会に「役に立つ会」であり
続ける事を目標に昨年の春から取り組んで参
りました。

本会での委員会活動も、次の時代に向けて
課題を抽出し、方向性を探る1年でありまし
た。若手の会員を中心とした新たな試みも検
討されています。支部・ブロックでは、仕事
展の展開が広まり、新会員入会のきっかけに
もなっています。

頼もしい動きがある一方で、設計事務所や
建築士にとって今後は厳しい環境が予想され
ますが、組織や会員相互の連携を生かしなが
ら、小規模事務所でも安定的に進んで行ける
方向を確立出来ればと考えています。日本建
築士事務所協会連合会が先般行った全国アン
ケートに依ると、会員事務所の約80%が10人

以下の所員数で、経営規模もきわめて小さな
状態である事がわかりました。社会的に設計
事務所に対して求められる要求が質、量共に
増大している現状からも、各事務所のスキル
アップと、事務所協会による組織的バックアッ
プがより重要であります。課題抽出の一環で
行っている会員アンケートから、今後各事務
所が求めている事を含め、組織のあるべき方
向を分析し、次年度以降の組織や運営の方向
性を示して行きたいと考えています。新たな
戦略計画が立案出来た後、「作戦(実現しなけ
ればならない事)・戦術(どうやるか)・計画(スケ
ジュール)」の3段階にて実行に向けて動き出
す事を目標にしています。

新年にあたり、行政並びに関係各団体の皆
様方には変わらぬご支援、ご協力をお願い申
し上げます。また、会員の皆様には、“まだ
まだやれる設計事務所”のスローガンの下、
事務所協会と共に頑張っていたいただき、事務所
協会と各会員事務所が社会に「役に立つ」存
在であり続ける為に一層のご協力とご支援を
お願いいたします。

報 告

スポーツ大会報告

2017年11月26日(日)日産自動車 追浜工場 体育館にて、平成29年度 神事協 スポーツ大会が開催されました。今年度の企画運営は横須賀ブロックが担当しました。競技種目は皆さん懐かしのドッジボールでした。8ブロック 150人超が集まり、皆さん楽しくかつ真剣勝負をされていて、盛大なスポーツ大会となりました。

午前は、白井会長はじめ、開会の挨拶があった後、2グループに分かれて、リーグ戦で予選を行いました。Aリーグは、相模原ブロック、横須賀ブロックA、横浜・川崎ブロック、中ブロックで、相模原と横須賀Aが決勝トーナメントに進みました。Bリーグは、湘南ブロック、横須賀ブロックB、県西ブロック、県央ブロックで、湘南と県西が決勝トーナメントに進みました。

午後は、勝ち組と負け組に分かれて、勝ち組は優勝を目指して、負け組は会長賞を目指して、それぞれ、トーナメント戦を行いました。先に

横須賀支部 小山 将史

行われた会長賞の決勝へは県央と横須賀Bが進み、接戦の末、県央が勝ちました。

決勝トーナメント前には、審判をやって頂いた青年4名と神事協の有志連合10数名でエキシビジョンマッチも行われました。試合は試合時間を待たず、あっという間に審判組4名が完封勝ちしました。球のスピード、キャッチング、戦術、いずれも圧巻で、会場全体がどよめきと感嘆の声で満たされました。

決勝トーナメントでは、相模原と横須賀Aが決勝戦へ、湘南と県西が3位決定戦へ進みました。いずれも白熱した接戦の末、優勝は相模原、準優勝は横須賀A、3位は湘南となりました。相模原は一昨年と昨年に続き3連勝とのことで、驚きでした。他のブロックのみなさん、来年度こそは打倒相模原で臨みましょう！

尚、会場体育館は巨匠 大高正人氏の設計で、空間やディテールも楽しむことができました。



優勝表彰



集合写真

会員仕事紹介

川崎支部
アルファ・デザイン株式会社
村山 勉

元住吉で事務所を営んでおります。独立する
なら生まれ育った地元でと設計事務所を始めて
早8年。縁あって地元ブレーメン商店街のまちづ
くりに係わる機会があり、それをきっかけに地
域密着、地元に係わる事が仕事のやりがいにな
ると感じ、今日に至ります。

弊社では賃貸共同住宅や高齢者住宅等を軸に
設計を行っています。その他、福祉施設、テナ
ントビルやオフィスビルも手掛けてきました。

去年は新たに保育園の設計機会を頂き、現在
建設中です。新規業務として現在は民泊対応の
共同住宅を展開し、設計を進めています。また
昨年、諸先輩方の勧めにより地元川崎市の入札
に参加し、小学校の改修設計、工事監理をする
機会を頂きました。解らない事だらけの中、指
名参加から設計、監理に関して事務所協会川崎
支部の先輩方にご指導頂き、先日無事に業務が
完了しました。

新たな取組みをする上で、事務所協会また川
崎支部がサポートしてくれる形となり大変感謝
しています。事務所協会に所属していることが
とても強みになると実感しております。これか
らもうよろしくお願い致します。



新たな時を刻む小学校

川崎支部
吉田建工株式会社
吉田 裕一

吉田建工株式会社及び吉田建工（株）二級建
築士事務所は川崎市を中心に、東京都・神奈川
県で木造の新築・解体・造成工事・増改築及び
マンションや工場や店舗などのリフォーム工事
を請け負っております。

近年は新築工事の需要が減りリフォーム工事
がメインになってきました。施工業務が忙しい
ので設計業務はしなくなりましたが当会会員様
のご協力もあり、細々営業しております。



親方の作業風景



親方の作業風景

地元のかわさき市民祭りにおいて、大工さん
が子供達と電動ノコギリを使い、木材をカット
してサイコロ作りを開催するなど、地元密着で
見習いから親方までの大工さんが当社で頑張っ
ています。これからもよろしくお願い致します。



かわさき市民祭り 三団体による出店(2017)

川崎支部
(有)金子建設一級建築士事務所
金子 成司

今年の春、築20年の賃貸をリノベーションして自宅にリフォームしました。

S造3階建て外壁はALC、決して劣化が進んでいたわけではありませんが、思い切ってスケルトンにしてリノベーションをいたしました。当社は、建設業が主でありますので一部の耐震業務を除いて、自社で施工する物件のみを設計監理してきました。



木質リノベーション

今回のテーマは、「木質」。会員の皆さんは既に取り組んでいる事務所が多いことと思いますが、工事予算ありきの当社の物件ではなかなか採用とならないため、今回のリノベーションでは試行的に実施いたしました。木造風に見せるために化粧柱を立て、天井材や建具、床材にもふんだんに無垢材を使用しました。また、外窓で時代を感じさせないように内窓も無垢材を使用いたしました。自邸として使用して初めて気づくことも多かったわけですが、家族の喜ぶ姿が何よりも救いでありました。



木質リノベーション

川崎支部
合同会社 春紫建築設計事務所
赤川 真理

春紫建築設計事務所(はるしけんちくせっけいじむしょ)は、伝統構法の本造住宅を中心に、耐震診断や補強設計、福祉施設、店舗やオフィスビル等の設計をしています。

大量に生産されるモノには無い、継承された技をもつ職人が手掛けた一つ一つの伝統のもののづくりを未来に継げることと、建築設計を通じて社会や環境に配慮するエシカル概念によることを大切にしています。

かわさきの家は、閑静な住宅街の中に設計した「木組みの家」。限られた空間を二階建てワンルームとして楽しめるように構造からインテリアまで工夫を凝らした住宅になりました。「鬼平犯科帳に出てくる軍鶏鍋屋のような家にしてほしい」というご要望で、家のどこでも美味しいお酒を飲めるように、また端麗でシンプルな骨組みとなるように間取りから配慮できたと思います。



かわさきの家

支部だより

「吹抜のある家」― 鵜沼の家（君島・大橋邸）の改修

■「建築家・山田初江さんが設計した住宅を耐震補強して減築する」

2016年7月、英国から届いたメールが始まりでした。尊敬する建築家・山田初江さんが60年前に設計した住宅を修繕して「人が居住できる状態」にした、さらに耐震性と設備回りのチェックをして欲しいとの依頼。山田先生の所員でもない僕になぜこのような話が来たのか。それは先生の自宅と僕の家が同じ町内で以前から親交があり、僕が設計した家を見て褒めてくださり、あるときは檄を飛ばしてくださる師のような方であることをたびたび書いていたブログを、建て主さんが目にしたことが出会いのきっかけでした。実際に建物を見に行くと、ああ先生らしい大胆な建築。大きく張り出した軒とリビングとダイニングキッチンがスキップし、元の設計では玄関がない。また先生の特徴である通風を考慮したディティールが素晴らしい。そこで考えたのが増築部分などを減築し、元の設計にもどして耐震補強をする、デザインにはいっさい手を加えないということ。設計と施工は、耐震診断と補強設計に強い鎌倉支部の仲間とやりたい。構造は山中さん、施工は森安さんをお願いすることにした。

森ヒロシ建築設計所 森 博

■「時代を超えて生きるディティール」

― 君島・大橋邸の構造検分

伝統的建築物の定義ではないが、有名建築家の名建築として後世に残すべき良き建築に手を入れるという仕事。建築された時代のなかで、建築家独自の解釈にて試行錯誤され完成し、量販住宅にありがちな最低限の仕様ではなく、当時の考え方を凝縮したような構造ディティールが採用されている。この建物を初めて見たときにこれは残せると確信した。普通の耐震診断を行うのではなく、限りなく当時の面影を残す検分方法を模索し、今回は限界耐力計算法（精密診断法Ⅱ）を採用して詳細なディティールも合わせることを心掛けた。一般的な剛性を高める耐震性能向上だけではなく制震要素を含んだ仕口ダンパー、耐力を確保しながらも目立たない鋼製ブレースの設置、壁体内への真壁面材補強は大地震時に木造軸組みにめり込み粘ることで減衰効果を得た。水平構面については当初より荒板の斜め張りを実践している為、一定の評価を行い耐力があるとして考慮した。補強をする際に必要となる追加梁の接合部は

既存の仕様に倣いボルト2本にて緊結することで表情を保たせた。結果として一部は補強材を設置することにはなったものの、意匠性を優先し巧みに隠すことだけにとらわれず、今後も更新し残す意思をはっきりと見せる補強方法を考えることで後世へ受け継がれた際にも改修部位が分かりやすいように心がけた。ゆかりのある建築家たちに完成披露会へ多く来て頂いたが、「建物として残る」ということに喜びを抱いていただいたようで担当した私も胸をなでおろした。古き良き建物を残す選択肢はいくつもあるが、その建物に合った手法を選ぶことで保存の仕方が大幅に変わってくる。一つの方法にとらわれ過ぎずに柔軟な考え方をもち、これからも取り組んでいければと思う。

株式会社 悟工房 山中 信悟

■「改修と耐震補強、当時のディティール」

この改修のお話を頂き、はじめに既存建物の状況を確認するための準備解体を行ったが、現存する図面とは違う構造や大きな劣化部分を発見するたびに、この先の工事に不安を覚えた。しかし壊してしまった以上前進するしかなく、壊した先から補強して造ってゆくことの繰り返しが続いた。改修する中で、当時工夫された耐震構造と思われるディティールがあらわれて驚いた。また、補強工事を行う上で当時の納まりと仕上げのチリが変わってしまい悩むところが多くあった。とは言え、そのような悩みを解決させる工夫も今回の仕事の醍醐味、山田先生の元の設計を大切にしながら設計、構造、施工の地元三人組が現場で喧々諤々話し合っただけで造り上げることが出来たことがおもしろい試みだったと思う。

芙蓉建設工業株式会社 森安 啓司

地元の三人が協力して、今の建築基準法にまで耐震性を上げることが出来た仕事でした。減築することで、元の設計にあったいかにも先生らしいネーミングの「アウトドアリビング」と「通り土間」を再現することが出来た。建て主さんが開いてくださったお披露目会では、山田先生がお出ましになり、久々に建て主さんとの再会となりました。建て主さんの「残したい」という思いから始まった仕事を鎌倉支部の仲間と出来たことが嬉しかった。 森

*suumoリフォーム WINTER.2018に紹介されました、ご覧下さい。



建築探訪

醤油発祥の地・湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区を訪ねて

県西支部 監事 小林 幸一

10月上旬、第41回建築士事務所全国大会 和歌山大会が開催されましたが、和歌山県というところを思い浮かべるでしょうか？南高梅から始まり、紀州みかん、くじらなど、また名所と言えば高野山、南紀白浜、那智勝浦などではありませんか。今回は、和歌山県で非常に特色のある町「湯浅町」を訪れました。ここは「日本遺産」にも認定された伝統的建造物群保存地区です。～「最初の一滴」醤油醸造発祥の地 紀州湯浅～として醸造文化の歴史が薫る、伝統的な町並みが残っています。

■紀州湯浅の沿革 i)

湯浅は、古代より熊野参詣において上皇や貴族が滞在する宿所であり、平安時代末期から勢力を誇った土豪の湯浅氏の本拠地として栄えました。中世に入り、熊野信仰が武士や庶民の間にも広まると「蟻の熊野詣」と表現されるほど多くの人々が熊野三山へ赴くようになり、室町時代後半には、東部の丘陵地を通過していた参詣の道が西方の海寄りに移るとともに町場が発達しました。16世紀末期頃になると、熊野街道の町場の西方に市街地が開発され、江戸時代の寛文元年(1661)には、さらに西方に臨海市街地域が拡大されています。

近世の湯浅は、藩内有数の商工業都市として発展しました。漁業や漁網製造なども盛んで、近海から遠く九州や関東、北海道まで漁場を開拓していますが、最も特徴的なものは、鎌倉時代に伝来した金山寺味噌の製造過程から生まれたといわれる醤油醸造です。紀州藩の手厚い保護を受けて藩外販売網が拡張され、文化年間〔1804～1818〕には92軒もの醤油屋が営業していたといわれるほど、代表的な産業となりました。

明治維新後、藩の保護を解かれたことによって醤油醸造家は大幅に減少しましたが、近代においても湯浅は有田郡の行政・経済の中心地として繁栄しました。近代化に伴う新しい施設や道路・鉄道などの整備は主に旧市街地の周辺で進められたため、近世の形態を受け継ぐ町並みが、今も往時のまま残されています。

■湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区の概要 ii)

保存地区は和歌山県の中郡西岸に位置します。16世紀末期頃に開発されたといわれる北町、鍛冶町、中町、濱町を中心とする醤油醸造業が最も盛んであった一帯にあって、『通り』と『小路』で面的に広がる特徴的な地割と、醸造業関連の町家や土蔵を代表とする近世から近代にかけての伝統的な建造物がよく残されている地区です。

醤油醸造など商工業を中心に発展した湯浅の町並みは、その重厚な歴史的風致を今日によく伝えていることから我が国にとって価値が高いと評価され、平成18年12月19日に全国初の醤油の醸造町として、国の『重要伝統的建造物群保存地区』に選定されました。

訪れた当日は小雨降る平日であったため、行き交う人々はわずかでしたが、醤油資料館や湯浅まちなみ交流館での地域の人々の一生懸命な説明や暖かさにふれあい、我々一行は充実感で満たされました。

横須賀支部の重鎮ご一行と私は、醸造元で購入したとても高価な手づくり醤油を今も大切に刺身で味わっております。

i) パンフレット「醸造の香りに生きる町 湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区」（和歌山県湯浅町発行）より引用

ii) 上記同パンフレットより引用

※湯浅町役場公式ホームページでは、上記パンフレットのほか、湯浅の醤油についても掲載されている「湯浅町観光パンフレット」をPDFにて閲覧出来ますのでぜひご覧ください。



案内板



醤油醸造屋



ふれあいギャラリー



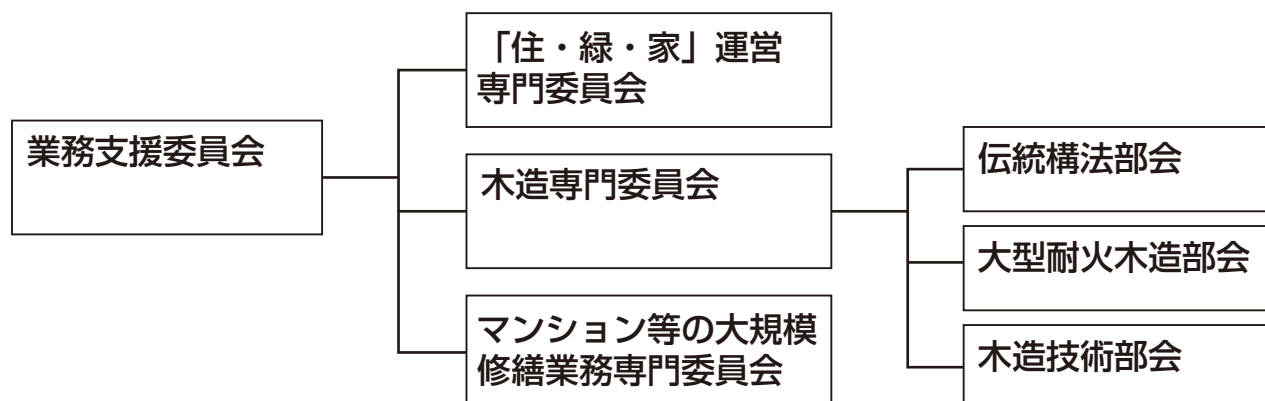
金山寺味噌店舗

委員会活動報告

29年度 業務支援委員会活動報告

業務支援委員長 永島 優子（川崎支部）

今年度より就任した理事1年生の私ですが、3つの専門委員会と3つの部会で構成された大所帯の委員会を担当することになってしまいました。役不足は承知しておりますが、福田亮一担当副会長を筆頭に、頼もしい専門委員長、部会長の皆様に助けをいただきながら、進めていくことができればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



さて、本題ですが、この委員会は、名前の通り、業務に結びつくような、専門性のある委員会、部会の活動を以て、会員の皆様に支援させていただくことが目的です。まずは、この会報を通じて、委員会活動を知っていただきたくご紹介させていただきます。

I. 「住・緑・家」運営専門委員会：新村玲子委員長・担当理事（相模原支部）

会員向け事業「住・緑・家」コンペを運営しています。本年度は、横須賀市の自治会館設計コンペを実施し、20社の応募がありました。ありがとうございました。応募作品は、当協会HP「住・緑・家」内にて公開しております。力作揃いですので、ぜひ、ご覧いただければと思います。あわせて、会員の皆様には、次回コンペのご参加もご検討をお願いします。

II. 木造専門委員会：永島優子委員長（兼任）・千賀浩一担当理事（横浜支部）

新規の委員会で、以下の3つの部会のとりまとめを行っています。

- ①伝統構法部会は、山中信悟部会長（鎌倉支部）を中心に、見学会や限界耐力計算基本講習会などの開催を行う予定です。
- ②大型・耐火木造部会は、千賀部会長（兼任）

の他、少人数の委員で活動していますが、取り扱う建築物は、大規模なものとなります。見学会&講習会を企画中です。

- ③木造技術部会は、寺坂良明部会長（横須賀支部）に、前年度から継続して活動いただいております。新耐震木造住宅検証法や特記仕様書改定の検討、プレカット工場見学会などを企画しています。

III. マンション等大規模修繕業務専門委員会：鈴木興委員長（川崎支部）・渡部雅行担当理事（県西支部）

マンション管理組合からの相談が多いことから、それに対応できる事務所を名簿化するためにできた委員会です。年2回の必修研修会の他に、工事見学会などを開催しています。今年度は、名簿登録事務所向けのコンサルタント募集が2件、相談は委員会で対応しており、2件ありました。

以上の通り、各々、活発な活動を行っていますので、ご興味のある方、専門委員会で活動したい方は、お気軽にご相談ください。

また、今後は、企画中の講習会、見学会のご案内があると思いますので、多くのご参加をお待ちしております。よろしくお願い致します。

新入会員のご紹介

11月入会者

藤沢支部

北川建築事務所一級建築士事務所
〒251-0056 藤沢市羽鳥2-7-18
TEL.0466-77-5388

北川 春樹

株式会社田辺工務店一級建築士事務所
〒251-0861 藤沢市大庭6964
TEL.0466-81-6316 FAX.0466-81-6316

片岡 啓次

鎌倉支部

株式会社desus建築設計事務所
〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷4-14-4
TEL.0467-55-9644 FAX.0467-55-9645

稲垣 裕行

12月入会者

横浜支部

株式会社メディック一級建築士事務所
〒230-0003 横浜市長谷区尻手1-11-13
TEL.045-716-6901 FAX.045-716-6910

長谷山 泰三

藤沢支部

ティー設計室
〒253-0035 茅ヶ崎市浜須賀14-1-503
TEL.0467-57-7064 FAX.0467-57-7064

田代 智子

エンケルヒューズ一級建築士事務所
〒251-0045 藤沢市辻堂東海岸1-9-1
TEL.0466-54-9813 FAX.0466-54-9819

南 喜郎

studio MAAMÖKKI
〒251-0032 藤沢市片瀬2-16-18
TEL.0466-60-0502 FAX.0466-60-0502

小林 史人

退会者

横浜支部

桜本建築設計事務所 Atelier-SAS

桜本 将樹

川崎支部

有限会社ケイエスワン設計

加瀬 重義

座間支部

戸大建設工業株式会社一級建築士事務所

戸澤 章

相模原支部

谷津建設株式会社

米原 正人

変更

横浜支部

小泉木材株式会社一級建築士事務所
(所在地変更) 〒220-0072 横浜西区浅間町1-4-4

東京セキスイハイム株式会社神奈川支店一級建築士事務所
(指定代表者変更) 高橋 隆一

有限会社YU設計企画一級建築士事務所
(所在地・TEL・FAX変更) 〒247-0056 鎌倉市大船2-10-17大棟ビル2A
TEL.0467-40-5159 FAX.0467-40-5259

湘南三浦支部

小島建築設計事務所
(所在地・TEL・FAX変更) 〒240-0114 三浦郡葉山町木古庭90
TEL.046-874-8042 FAX.046-874-8554

鎌倉支部

鎌倉R不動産株式会社一級建築士事務所
(事務所名称・指定代表者・TEL・FAX変更)
旧) 稲村ガ崎三丁目不動産株式会社一級建築士事務所 高橋 圭一
TEL.0467-25-6647 FAX.0467-25-6709

茅ヶ崎寒川支部

中野設計工務株式会社一級建築士事務所
(指定代表者変更) 中野 慶悟

平塚支部

株式会社シンキプランニング
(事務所名称変更) 旧) シンキ・プランニング一級建築士事務所

変更	
伊勢原支部	
株式会社トーンホーム二級建築士事務所 (事務所名称・所在地・TEL変更) 旧) 株式会社トーンホーム一級建築士事務所 〒259-1131 伊勢原市伊勢原4-12-1 TEL.0463-92-3333	
賛助会新入会員	
平成29年度入会者	
ミホ工業株式会社	

会 勢		平成29年 1 2 月 5 日現在				
支部名	平成29年3月末日	現在	入会者	退会者	増減	
横 浜	265	262	6	9	-3	
川 崎	107	107	4	4	0	
横 須 賀	51	52	1	0	1	
湘 南 三 浦	18	18	0	0	0	
藤 沢	34	42	9	1	8	
鎌 倉	40	42	3	1	2	
茅ヶ崎寒川	18	17	0	1	-1	
平 塚	21	23	3	1	2	
秦 野	19	18	0	1	-1	
伊 勢 原	7	7	0	0	0	
大和綾瀬	19	19	0	0	0	
厚 木	33	32	0	1	-1	
座 間	15	14	0	1	-1	
海老名	16	16	1	1	0	
愛 川	7	7	0	0	0	
相模原	72	71	0	1	-1	
県 西	41	40	0	1	-1	
合 計	783	787	27	23	4	
賛助会員	84	85	7	6	1	

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

皆さん、一般社団法人として調布を中心に活動している「えねこや」をご存知でしょうか。今回、編集者のつぶやきでは、私が尊敬する先輩建築家の湯浅剛さんが代表理事を務める「えねこや」をご紹介させて頂こうと思います。

そもそも「えねこや」は、自然の力で作ったエネルギーだけで心地よく過ごせる小さな建築、エネルギーの小屋のことで、少ないエネルギーでも快適かつ健康的に過ごせることを前提に、太陽光発電と蓄電池で電力自立、オフグリッドを目指しています。そのためにまず建物の規模を抑え、小屋化して、断熱気密性能の向上と省エネ機器の採用により大幅な省エネをはかり、太陽や風などの自然エネルギーと再生可能な木質バイオマスを最大限活用しています。

それから「えねこや」をカフェやギャラリー、子育てや高齢者のサロンなど、半公共空間として地域に展開し、さまざまな活動や参加型イベントを通して「エネルギー多消費型の暮らし」から「持続可能で豊かな省エネルギー型の暮らし」へと発想の転換を促しています。また「えねこや」を通して地域住民をつなぎ、震災などの非常時でも不自由なく過ごせる、災害に強いエネルギー循環型社会の実現を目指しています。

概要は以上ですが、何が凄いかと言うと、理念だけでなく、実際に湯浅さん自ら「えねこや」を作って実践していることです。事務所も兼ねていて、日々のデータも記録しながら、電気、給湯は完全に自立した生活を送られています。当然問題点がない訳ではないのですが、やってみたことにより解決策が見つかることも多いとのことと、実践することの大切さを改めて学びました。

また、セミナーや見学会だけでなく、子ども向けに「えねこや屋台」を作ってワークショップを行う等、地道に広める活動もされています。その成果もあって、朝日新聞等マスコミにも取り上げられています。

私はインフラから何かしら恩恵を受けている以上、インフラを否定できないですが、インフラに頼りすぎないことも大切だと考えていて、「えねこや」のようなオフグリッドを目指す活動はとても素晴らしい、私も是非習いたいと思っています。

横須賀支部
小山将史



上記スケッチは「えねこやHP」から引用しています。

かながわ 平成30年1月号 (通号412号)

発行 平成30年1月1日 (奇数月1日発行)
発行人 白井 勇
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

- ・ 担 当 副 会 長 西倉 哲夫
- ・ 広報情報委員長 杉本 勝郎
- ・ 広報情報副委員長 相原 聡
- ・ 広報情報委員 雨森 隆子 赤川 真理 小山 将史
- ・ 清田 鈴美子 田中 敦史 仙波 弦
- ・ 石川 勝彦 神尾 明美
- ・ 事 務 局 久保田 千尋



今月の表紙

霊峰 富士

明けましておめでとうございます。

やはりお正月は 「富士山」とばかりの表紙です。平成の元号もあと少しですが昭和生まれの身としては二つ前の元号生まれになってしまうのに戸惑うばかりです。今年も「KANAGAWA」を宜しくお願い致します。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association